

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	赤穂精華園放課後等デイサービスセンター		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		令和6年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		令和6年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性に応じたプログラムの作成	食品トレーやラップの芯、その他家庭から出る通常ならゴミとして捨てられそうなものを素材として、創作活動の材料としていつでも提供できるよう準備している。	できあがった作品を展示しているが、県が主催する作品展などに出品していく。
2	地域の社会資源を活用した活動	月に1回は地域に出向くイベントを開催。たとえば他の福祉施設が経営している喫茶店へ行って喫食したり、地域の公園などに車で出かけて遊んだりしている。	特別支援学校が主催するイベントなど、地域で実施しているイベントがないか情報をはりめぐらして積極的に参加していく。
3	ボランティアの受入	有償ボランティアで音楽療法を毎月2回実施。クリスマスやハロウィンなど季節に応じた行事にボランティアの受入を行っている。その他絵本の読み聞かせ等の受入も実施している。	有償ボランティアは定期に受け入れているが、無償のボランティアは相手側の都合によるところが大きいので、長期的な計画に盛り込めるよう年度当初から打合せを行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動が苦手な方に過ごしやすい環境	主な活動場소가ワンルームなので、外部からの刺激に反応しやすい方でもそれを遮断することができない。	新たな部屋を作ることができないので、パーティション等で対応している。
2	市街地から遠い	特別支援学校に隣接しているので登所には便利だが、帰宅に時間がかかる。また、保護者が送迎されている方にはご不便をかけている。	ご希望者には送迎を実施し、複数の便を出して対応しているが、細かい時間の設定が難しい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 赤穂精華園放課後等デイサービスセンター

公表日 令和 7年 2月 1日

利用児童数 令和 6年11月15日 回収数 21

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	1	3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	0	2	ノート用意して下さりありがとうございます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	0		
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	2		
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	4	10		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	3	1	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	5	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	5	3	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0	3	6	12		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	1	3		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	2	10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	4	0	11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	0	3	事故や友だちとのトラブルがあった時、送迎時不在の時は電話等で連絡してほしい。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	2	1	0		

公表

事業所における自己評価結果

令和 7年 2月 1日

公表日

事業所名	赤穂精華園放課後等デイサービスセンター				
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	4	2	部屋がないので屋外に連れて行くなどの対応をしている。	クールダウンできる部屋が確保できていない。
	2	2	4		法的には充足しているが、十分な支援のために配属されている以上に増やしたい。
	3	1	5	スロープや手すりの設置。 障害者用トイレの設置。	トイレや入口が狭く、車いすの人には不便などところがある 非常口及び手洗い場への導線に段差があり危険。
	4	6	0	各々に応じた活動ができるよう、興味ある物を用意し、常に利用できるよう準備している。	男女兼用の部屋となり、不便さがある。
	5	1	5	個別の部屋がない為、遊戯室に必要に応じてカーテンを吊したり、区切りにパーティション等で工夫している。	更衣やクールダウンできるスペースが少ない。
業務改善	6	4	2	会議等で話し合っている。	十分な話し合いのための時間の確保が課題。
	7	4	2	定例の会議で評価表の結果について検討し、改善すべき点を改善している。	保護者の意向については口頭で行うことが多いので、連絡ノートや個別支援計画を活用している。
	8	6	0	月1回の会議で意見を発する機会が設けられている。あったかサポート・支援の気づきポスト等を実施している。	
	9	0	6		現在行っていないので、今後行っていく必要がある。
	10	6	0	園内でも月に1回程度の研修を実施している。また、できる限り研修に参加している。	放デイの勤務形態から、午後から開催する研修に参加しづらい。
適切な支援の提供	11	5	1	必要な時期にプログラムを作成し、保護者に確認していただいている。	
	12	6	0	必要な時期にアセスメントを行い、児童と保護者のニーズを分析して個別支援計画を作成している。	
	13	6	0	相談支援事業所や他法人の放デイ事業所、学校などと積極的に情報交換を行っている。また、市の開催する連絡会にも参加している。	関係機関との連携については、特に医療機関とは不十分なところがある。
	14	6	0	毎月実施しているモニタリングで情報共有を行っている。	
	15	0	6	フォーマルなツールとして、アセスメントソフト、インフォーマルなツールとして職員間の連絡ノート等を活用している。	
	16	6	0	4つの領域について支援計画書を作成している。	
	17	5	1	大きな活動プログラムについてはチーム内で綿密な計画を立てて行っている。	個別の活動プログラムについては個人で立案して、全体に周知するという流れになっている。
	18	6	0	各々の能力に応じた選択肢を用意し、参加できるようにしている。 季節感を伴ったプログラムを意識している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	6	0	児童の状況に応じた個別活動と集団活動を適時組み合わせた支援計画を作成し、支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	打合せに参加できなかった職員のために、連絡ノート等を活用している。	職員の勤務形態が異なるので、全員そろって打合せを行うことが難しい時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	児童の送迎が終わってからは、ゆったりとした空間で振り返りを行っている。	職員の勤務形態が異なるので、全員そろって振り返りを行うことが難しい時がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日誌やケース記録は徹底している。	記録を支援の検証・改善に生かしてきていない面があるので、会議等で検討していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に1回モニタリングを行い、支援計画の見直しを図っている。	
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	2	4つの基本活動を組み合わせる支援を行っている。	
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	常に複数のプログラムを用意して、提供する準備を整えている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	サビ管、及びリーダークラスの職員が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	障害福祉や教育機関とは必要に応じて連携している。	特に医療機関との連携がとれていない。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		児童発達支援センターとの連携がとれていない。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		地域交流の機会の提供ができない
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時にデイでの状況を伝え、それと同時に家庭での状況を聞いている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		情報提供等については特に行っていない。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	送迎時に担任から聞き取りを行っている。学校が発信する情報を受信できるアプリを導入している。	学校からの情報について、施設から尋ねないと入ってこない事も多い。
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		面談を通してのみの情報しか入ってこない。
39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	卒業に伴い、新しい事業所、相談、放デイ等関係者が集まりカンファレンスを行っている。		
40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	参加しているが、児発管やリーダーのみ。		

保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	利用前に十分な説明を行っている。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	利用前、家族との面談を必ず実施して確認している。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	サインをいただくときに支援内容の説明を行っている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	保護者からの相談について、送迎時を利用して行っている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		保護者会等保護者同士の交流は行っておらず、今後の課題である。
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	子どもや保護者からの相談や苦情があったときは、緊急度を検討し、迅速な対応が求められたときはスピード感のある対応を行っている。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	4	定期的ではないが、その日の様子や行事に参加した写真をプリントして、配布したり掲示したりしている。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報にアクセスできる部屋は常に施錠している。	
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	たとえば耳に障害のある児童には支援員全員が簡単な手話で意思疎通を行うなど工夫をこらしている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	行事にあたっては、ボランティアの受入等を行い地域に開かれた事業運営を行っている。	
51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	特に送迎時には話しやすい雰囲気作りをこころがけて、必要な助言と支援を行っている。		
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	5	マニュアルを作成している。	訓練については必要最低限しか行っていない。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	4	BCPを策定している。	訓練については必要最低限しか行っていない。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	サービス利用前に十分な聞きとりを行っている。	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	5	保護者からの聞きとりを行っている。	医師からの直接的な指示は得られていない。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		訓練については必要最低限しか行っていない。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	5		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	4	ヒヤリハットの様式を改善し、簡素化して誰もが書きやすいものになっている。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修の参加を義務づけている。支援の気づきポスト、あったかサポート等に対応している。	
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束を行っていない。		